

知りあい 伝えあい 通いあい
そこから、ともに生きる 明日にむかって



Koichi

5年目の3.11

東日本大震災から5年目を迎える今こそできること

札幌駅前通地下歩行空間 北3条交差点広場(西)

3月10日(火) 12:00~20:00 3月11日(水) 10:00~19:00

東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故から4年。今、そしてこれからを見据え、様々な取り組みをしている北海道内、札幌市内の団体・企業が参加します。

内容 | 古書・被災地仮設住宅の手づくり品などをチャリティー販売、参加団体・企業の取り組み紹介、ミニライブ、木育ワークショップ、募金活動、被災地写真映像 ほか

2015年3月11日(水) | 東日本大震災発生時刻である午後2時46分に会場にて黙祷を行います。多くの尊い生命とそれぞれの思いに祈りと願いをこめて。

主 催 5年目の3.11 実行委員会

5年目の3.11

東日本大震災から5年目を迎える今こそできること

うけいれ隊

避難生活をおくる子育て中の親とその子どもにむけた支援と、福島県と近県にくらす子ども達の保養活動を行なっています。

(N) 奏楽 そら

札幌交響楽団のオーボエ奏者、岩崎弘昌を中心に若手演奏家達が継続的に被災地を訪問、音楽での絆を繋げています。

(N) 福島の子どもたちを守る会・北海道

原発事故による健康被害から、福島の子どもや家族が心身の健康を取り戻すための保養施設運営をはじめました。

みちのく会

被災・避難者自助団体。会員同士の自助、地域市民とのコミュニティの発生、それぞれが願う自立を目指し様々な取り組みを行っています。

北海道

北海道広域避難アシスト協会と連携し、道内に避難されている方々に情報紙「からから」を発行したり、戸別訪問などを行ってきています。

NGR

起こってしまった原発事故から気づいた様々を伝え知ってもらうための情報の拡散と保養を目的に活動しています。

(N) チェルノブイリへのかけはし

チェルノブイリ原発事故での活動と経験をいかし、放射能による健康被害を心配する被災者・母子のサポートを行なっています。

(N) BETTER DAYS PROJECT

「No」よりも「Yes」。音楽やフリーペーパーなどを通して、より良い未来の創造を目指す活動をしています。

(N) みみをすますプロジェクト

原発事故被災地の子ども達や北海道に避難している子ども達への様々な支援活動を行っています。

札幌市

札幌市東日本大震災被災者支援活動基金を設立し、被災地支援及び市内で支援活動を行なう団体への助成を行なっています。

北の里浜

花のかけはしネットワーク

津波被害後の復旧工事により、再び危機に直面している海浜植物の保全活動を行っています。

チーム☆OK

メンバーは原発事故による避難者と道民サポーター。道民と避難者の相互理解を深める「つなぎ役」となる活動を行なっています。

参加団体・企業ご紹介

※(N)はNPO法人

ゆる・ほかプロジェクト<チーム健康棒>

仮設住宅を中心に訪問し「健康棒ワークショップ」を開催。心身共にリフレッシュできる活動を続けています。

札幌駅前通まちづくり(株)

震災後の募金活動、チャリティ販売、震災に関わるトークセッションなど様々な支援活動の場としてチ・カ・ホを提供しています。

(N) コミュニティワーク研究実践センター

岩手県宮古市で人形劇等の公演を続けながら、親や保育士も含めた多面的な子ども支援を続けています。

手仕事よりそい隊 結☆結 & ベングアート

東松島生まれの「おのくん」など、仮設住宅などで作られた手作り品のチャリティ販売を続けています。

(株) 北海道宝島旅行社

「被災当時」と「今」を見聞きしながら被災地のガイドとともに復興現場を知り歩く、「応援プログラム」を企画・提供しています。

Light Up Nippon Hokkaido

被災地10か所以上で8月11日に行われている同時打ち上げ花火の北海道開催を企画・運営しています。

(N) 北海道 NPO ファンド

東日本大震災・原発事故の被害に対して支援金を募集し、支援に役立つと考えられる団体を選定し、支援金を助成しています。

(社福) 札幌協働福祉会

仁木町にある「山の家きょうどう」にて、原発事故後の放射能による健康被害を心配する家族の保養先として通年で受け入れをしています。

福島県北海道事務所

被災3県唯一の道内県事務所です。昭和27年から、福島県の観光や物産を中心に、北海道との交流を行なっています。

北海道ブックシェアリング

図書を失った被災地の図書施設への本の提供のほか、施設の整備や建設などによる再開支援を長期にわたって進めています。

(株) ルーツ・オブ・ジャパン

家庭で眠っているバッグやぬいぐるみなどを集めて換金し、震災支援やサポート、被災者を支える活動をしている団体などに寄付します。

北海道 NPO 被災者支援ネット

平成26年度札幌市被災者支援事業受託し、被災・避難者、および市民への情報提供などを行なっています。

きぼうのワークショップ

北海道から福島県の子どもたちに贈る
たくさんのきぼうのメッセージ
チ・カ・ホでいっしょにつくろうよ!

会場では、北海道が企業・団体との連携により木育の一環として取り組んでいるく東北にきぼうでメッセージを贈ろう! ~「希望」を「きぼう」でプロジェクト~による、バーニングペン(電熱ペン)で「きぼう(木棒)」にメッセージを書き込むワークショップが行われます(無料)。



この会場で集められた「きぼう」は、木枠とセットで「きぼうのプール」として、「福島県民の森フォレストパークあだたら」に寄贈されます。※宮城県内、岩手県内の施設には、昨年の12月に寄贈されました。

■メッセージの書き込みは15分~30分かかる場合があるので、時間帯によってはお待ち頂く場合もございます。■小学生以下のお子さまは、保護者同伴でお越しください。

奏であいミニライブ

3月10日(火)

12:00 ~ 札幌大学吹奏楽団
14:30 ~ ふるさとを歌う会 in 札幌 森の時間
17:30 ~ 奏楽
19:00 ~ モノノケユースケ × 福井岳郎 × ikura

3月11日(水)

12:00 ~ BETTER DAYS PROJECT
14:00 ~ 奏楽
14:46 黙祷
16:00 ~ my & Jennie -stateless-
18:00 ~ 道庁女声合唱団 まうぷりか

■演奏時間は各30分前後を予定しております(3月11日14時から)の(奏楽)は約1時間)■予告なく時間などが変更になる場合があります。